



塞翁が馬

株式会社ジャパンネット 代表取締役社長
山本 和則

干支の間隔とは違っていますが、18歳で交通事故の為社会復帰に半年を要する怪我をするも、それが縁でカミさんに出会う。36歳で勤務していた会社が倒産するも、起業を決意し現在に至る。54歳で癌の為胃を全摘するも、メタボが解消し多くの数値が正常値となる。72歳の今、何が起きても塞翁が馬の如く好転させていきたいと思っています。



卒寅の会

昭栄産業株式会社 代表取締役社長
平澤 利明

32年前に青年会議所を卒業した仲間と、卒寅(そつら)の会という集まりを定期的に開く。ゴルフと食事の他愛のないものだが、毎回楽しいひと時を過ごせている。1990年卒の卒と、健康な体で卒寿を迎えようということをかけて命名した。残念ながら彼方の世界へ逝ってしまった仲間もいるが、残った者は何としてもあと18年は頑張るぞ!いや待てよ、残り少ないな、百寅の会に変えますか…。



恩送り

株式会社大光銀行 執行役員 新潟支店長兼学校町支店長
高橋 義彦

「恩送り」という言葉があります。還暦という節目で振り返ってみると今までたくさんの方の助けや優しさを受けながらどうにかやってこられた気がします。これから人生の後半は感謝の心を持ちながら受けきた「恩」を少しでも送る事ができる様頑張りたいと思います。



Be Prepared 備えよ常に

株式会社富山 代表取締役
富山 道郎

年々深刻化する地球の温暖化、それに伴い激しさを増す自然災害。世界でCO₂削減が叫ばれています。一方、急激な削減は電力不足による生産抑制、物流の混乱等を巻き起こし、物不足に直面している今日この頃です。変化は常態と言われておりますが、ボーイスカウトの標語に「Be Prepared 備えよ常に」があります。「いつ何時、いかなる場所でもいかなることが起こった場合でも善処できるように常々準備を怠ることなかれ」と教えられた事を今でも思い出します。



当たり年

株式会社新潟日報社 代表取締役社長
小田 敏三

「新型コロナウイルスを言い訳にしない」と覚悟を新たにしている。大切なのは、「虎穴に入らずんば虎児を得ず」の格言通り、リスクを恐れぬ果敢な精神。そのためにも足元を固め、鋭敏な感性を磨きたい。小さな変化に大きな転機のヒントを見つけられるよう、虎視眈々と目を凝らしていきたい。



1日1日をたいせつに

株式会社新潟ビルサービス 代表取締役
鈴木 謙太

年をとるにつれ時間が早くなっている体感がある。子供の頃は、早く大人になりたいな。そうしたらいろいろな所へ行けて、欲しい物を買って、お酒も飲めて楽しそうだなと思った。しかし大人になったら、時間はないわ、お金はないわと思う様にいかないものである。そして、もう新年。限られた時間を大切に生きていこうと思う。



還 暦

株式会社和田商会 代表取締役社長
和田 晋弥

まだまだ若手の部類かと思っていたのに、還暦を迎えることに正直驚いている。そこそこ健康でいられるのもまずは、両親、家族に感謝しなければなるまい。新型コロナウイルスに振り回され、じっと我慢の日が続いている。また、行く手には頭の痛いカーボンニュートラル問題も控えている。友人から刺激をもらいながら、この先楽しい時間が増えることを願っています。

